深川市立病院

病院データ

住所	〒074-0006　深川市６条６番１号
URL	https://www.city.fukagawa.lg.jp/fukabyo/
連絡先(窓口)	事務部長　髙田／事務部管理主幹　村田 0164-22-1101（直通） kanri.hp@city.fukagawa.lg.jp
病床数	203床
専門研修指導医数	４人
臨床研修指導医数	７人
外来患者数	504人/日※令和４年度（2022年度）実績
入院患者数	116人/日※令和４年度（2022年度）実績
標榜科	内科　循環器科　呼吸器科　消化器科　小児科　外科　肛門科　整形外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻いんこう科　麻酔科　脳神経外科　リハビリテーション科　放射線科
給与（月額）	68万円（医師免許取得３年目の場合）
処遇	身分(地方公務員)、健康保険(北海道市町村職員共済組合)、公務災害補償(地方公務員災害補償基金)、各種福祉事業(北海道市町村職員福祉協会)、退職金(北海道市町村職員退職手当組合)、ユニフォーム貸与支給
サブスペシャルティ	無

深川市立病院　総合診療専門研修プログラム

本プログラムは、病院、診療所などで活躍する的確な診断と高い治療能力を持つ総合診療専門医を養成するために、北空知医療圏におけるセンター病院である深川市立病院を基幹施設とし、旭川医科大学病院、松前町立松前病院、砂川市立病院、北海道立羽幌病院、足寄町国民健康保険病院、町立沼田厚生クリニックとの連携をいただく中、専門各科と協同し患者中心の全人的医療を実践しながら、自らのキャリアパスの形成や地域医療を担う実力を身につけていただく事を目的としています。

〔連携施設〕
【大学病院】旭川医科大学病院
【 病　院 】松前町立松前病院／足寄町国民健康保険病院／北海道立羽幌病院／砂川市立病院／町立沼田厚生クリニック

院長・プログラム統括責任者から

当院は、道内に21ある二次医療圏中、面積比では21番目（1,067.29㎢）、人口比では20番目（29,694人・・2020年国勢調査人口）に位置する北空知二次医療圏において、唯一一般病床を有する中核病院として、その使命と役割を認識し地域住民に信頼される医療の提供に努めています。

病床数203床を有し、17科体制で、災害拠点病院、救急告示病院、へき地医療拠点病院、北海道がん診療連携指定病院などに指定されており、医師、スタッフともに限られた人員ではありますが職員一丸となって医療提供体制の確立に取り組んでいます。

当院での研修をご検討されている方は是非ご見学にお越しください、熱意あふれる医師がお待ちしています。

院長　新居　利英

診療部長・特任指導医から

診療部長・特任指導医
大谷内　真弓

北空知二次医療圏では、深川市、沼田町、妹背牛町、秩父別町、北竜町の１市４町が一体となって地域包括ケアシステムの構築に取り組んでおり、当院はその中心的役割を担う中、地域医療の確保と、医療機関や介護サービス事業者など関係者間の連携推進を図るなど、患者様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう様々な取り組みを進めているところです。

規模が非常に小さな二次医療圏にある中核病院ですが、二次救急医療機関として高度医療と救急医療を確保し地域住民の医療ニーズにしっかりと対応しており、また、初期研修医の指導実績も豊富であり、当院や連携施設で研修を行なっていただくことで、総合診療専門医に求められる「患者様を多角的に診る」「家族・生活背景を診る」「地域全体を診る」力を、確実に身につけていただくようしっかりと指導をいたします。

ローテーション例

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	深川市立病院											
	領　域	内科											
2年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	深川市立病院、砂川市立病院											
	領　域	総診Ⅱ											
3年目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	施設名	深川市立病院 旭川医科大学病院			深川市立病院 砂川市立病院 旭川医科大学病院			松前町立松前病院　北海道立羽幌病院 足寄町国民健康保険病院 町立沼田厚生クリニック					
	領　域	小児科			救急科			総診Ⅰ					

深川市立病院は北空知二次医療圏域（１市４町、圏域人口約２万９千人）におけるセンター病院としての使命・役割を常に認識し、地域住民に信頼される医療を提供すると共に、地域の医療機関等との連携のもと、地域住民の健康保持・増進を図り、地域の発展に貢献しています。一次救急及び二次救急を担っており、内科外来は臓器別ではない一般内科外来として機能しており初診患者に対応しています。

旭川医科大学病院は、当院へ常勤医師及び出張医師を数多く派遣頂いており、また、当院で治療が施せない患者の転送先病院の一つでもあり、日頃より連携を密にしているところです。小児科及び救急科の研修を旭川医科大学病院で行う事が可能です。

松前町立松前病院、北海道立羽幌病院、足寄町国民健康保険病院及び砂川市立病院は、総合診療専門医の育成にも力を注いでいる病院であり、その実績も高く評価されているところです。松前町立松前病院、北海道立羽幌病院、足寄町国民健康保険病院、町立沼田厚生クリニックにおいて総診Ⅰの研修を行い、砂川市立病院では総診Ⅱ及び救急科の研修を行う事が可能となっています。

施設所在地の概要

深川市の特徴

深川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積529.23平方キロメートル、田園風景が広がる人口１万９千人の、のどかなまちです。本市の北部から南に雨竜川が、南部には、北海道第一の長流石狩川が貫流し、この両河川を中心に両翼に開ける平地に市街地と水田、畑が形成されています。

交通アクセス

北海道のほぼ中央に位置する深川市には、特急列車の乗降駅があるほか、高速道路のインターチェンジも完備され、路線バスも運行されています。

○ 旭川市までの所要時間（車で35分（一般道）／ＪＲ（特急）で19分）
○ 札幌市までの所要時間（車で85分（高速道路）／ＪＲ（特急）で66分）
○ 新千歳空港までの所要時間（車で105分（高速道路）／ＪＲ（特急）で1時間42分）
○ 旭川空港までの所要時間（車で60分（一般道））

ちょっと田舎だけどとっても便利な田園都市深川暮らし

深川市は交通アクセスの良さや食の宝庫、さらには「震災」「台風」などの自然災害の少なさなどが着目され、北海道外からの移住者が増加しており、「住みたい田舎ベストランキング」（宝島社）では2022年シニア世代２位、若者世代２位、2023年シニア世代２位に輝きました。主要な施設等をご紹介します。

○医療機関（病院：５院、診療所：10ヵ所、歯科医院：13院）
○スポーツ施設（深川市総合体育館・深川市民球場・深川市民テニスコート・深川市民陸上競技場・温水プール「ア・エール」・ゴルフ場・サイクリングコース）
○文化施設（生きがい文化センター・文化交流ホール「み・らい」・アートホール東州館・図書館）
○商業施設（スーパー：６店舗、コンビニ：11店舗、ホームセンター：３店舗、ドラックストア：４店舗）
○その他（アグリ工房まあぶ～「温泉」「レストラン」「コテージ」・まあぶオートキャンプ場～「カーサイト」「フリーテントサイト」「コテージ」・道の駅「ライスランド深川」～道の駅ランキングでも常に上位にランクインする人気スポット）

深川市街（戸外炉（トトロ）峠より）

春の田園風景

深川商店街